

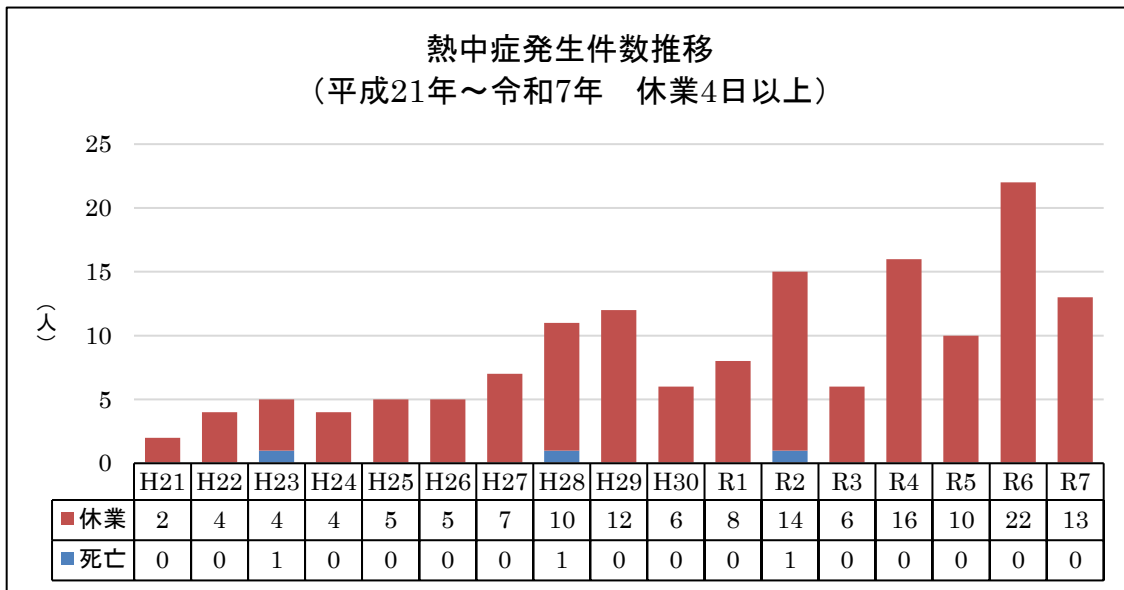
## 宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況 (休業4日以上 の労働災害)

### 1 熱中症による死傷者数の推移(平成 21 年～令和 7 年速報値)

職場での熱中症による死傷者数は、平成 21 年以降の 17 年間で 151 人となっており、増減はあるものの長期的には増加傾向にある。

令和 7 年の死傷者数(速報値)は、前年を下回る 13 人となる見込みである。

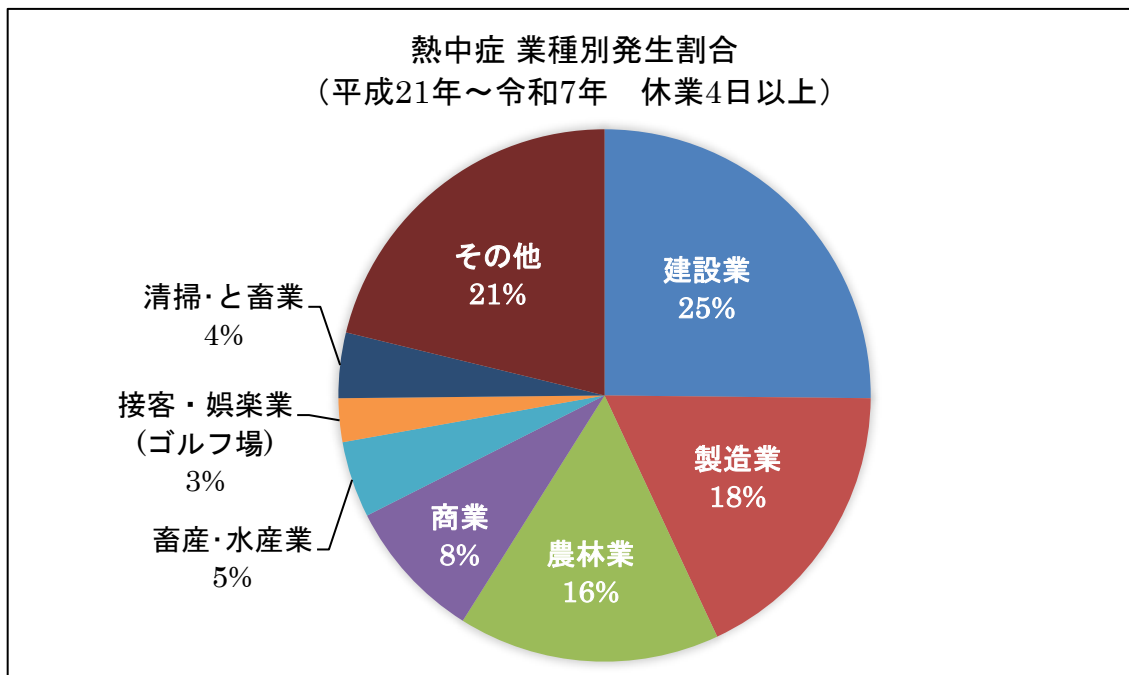
なお、平成 21 年以降、3 人が熱中症で亡くなっている。



### 2 業種別発生状況(平成 21 年～令和 7 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21 年～令和 7 年速報値)の業種別の熱中症の発生状況を見ると、建設業が 38 人(25%)で最も多く、次いで製造業が 27 人(18%)、農林業が 24 人(16%)と続いており、この 3 業種で全体の約 6 割を占めている。

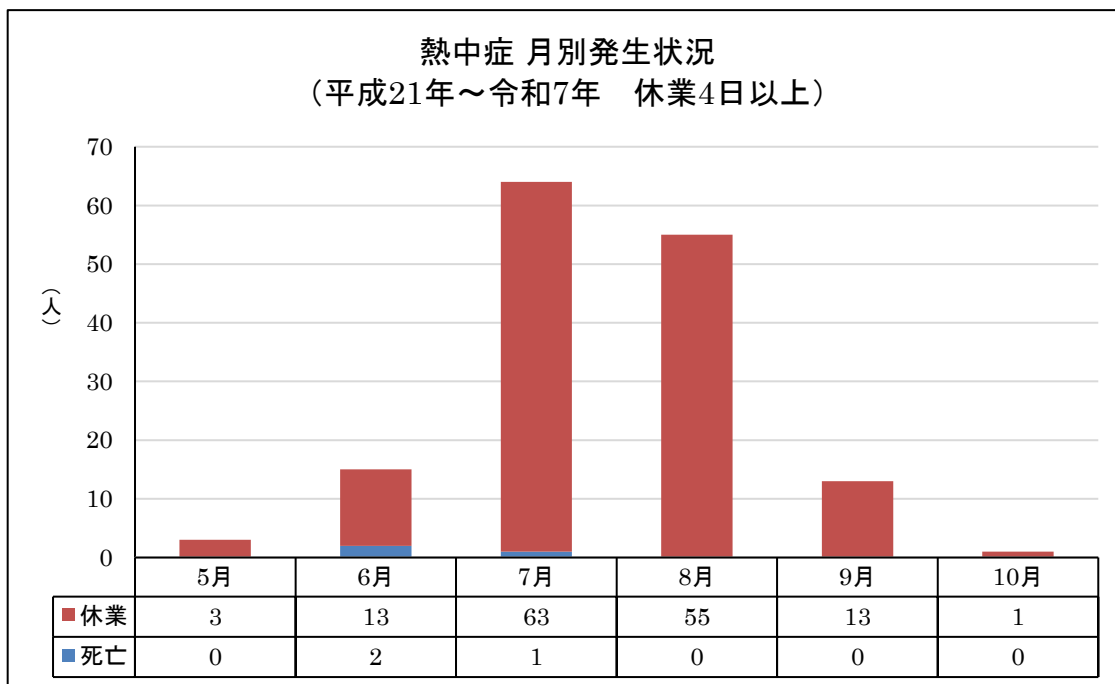
死亡は、林業で 2 人、建設業で 1 人発生している。



### 3 月別発生状況(平成 21 年～令和 7 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21 年～令和 7 年速報値)の月別発生状況をみると、毎年、梅雨明け・盛夏の時期となる 7・8 月に全体の約 8 割(119 人)が発生している。

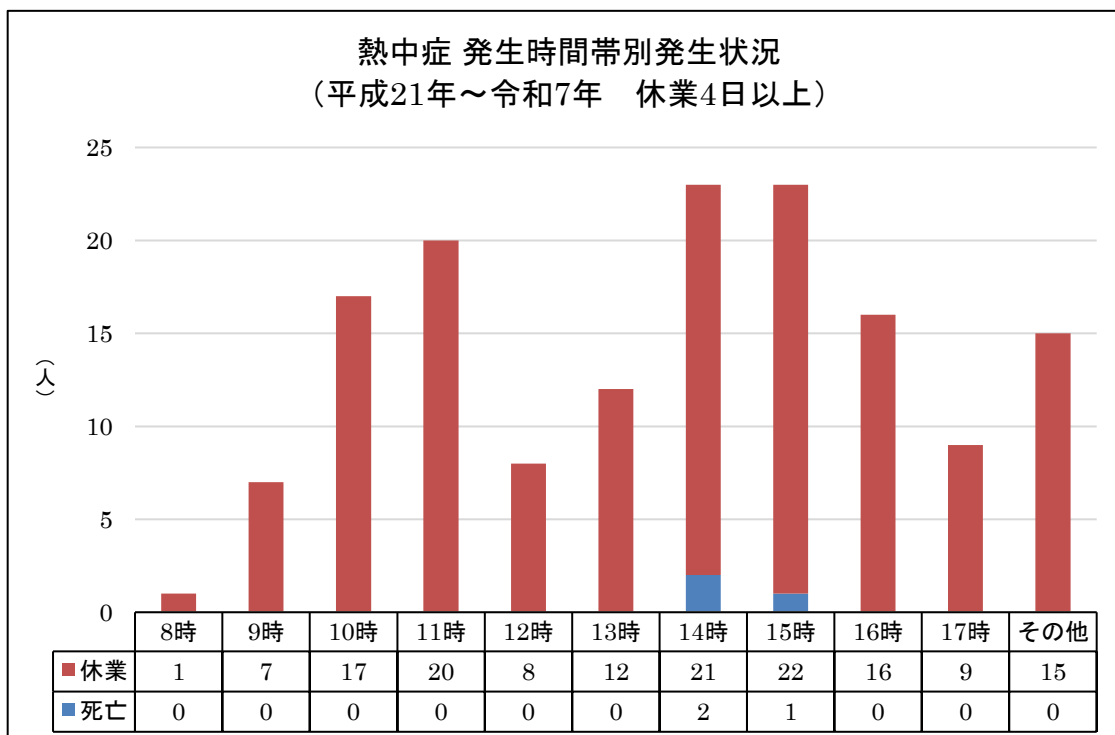
死亡は、6 月に 2 人、7 月に 1 人発生している。



### 4 時間帯別発生状況 (平成 21 年～令和 7 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21 年～令和 7 年速報値)の時間帯別発生状況をみると、気温が上昇する 10・11 時台、気温が最も高くなる 14 時から 15 時台が多くなっている。

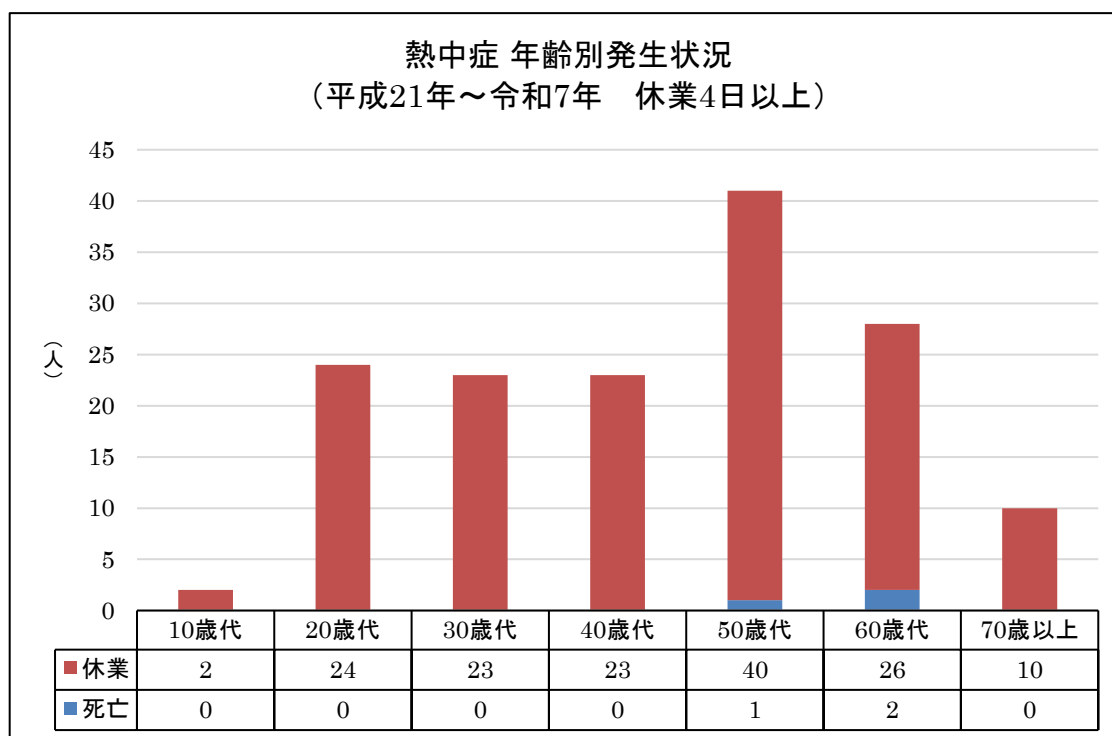
死亡は、14・15 時台に発生している。



## 5 年齢別発生状況(平成 21 年～令和 7 年速報値)

平成 21 年以降(平成 21 年～令和 7 年速報値)の年齢別発生状況を見ると、50 歳代が 41 人で全体の 27%を占めており、次いで 60 歳代が 28 人(18%)となっている。

死亡は、50 歳代が 1 人、60 歳代が 2 人となっている。



※ 統計は労働者死傷病報告(休業 4 日以上)の数値である。

**宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害事案の概要**  
(令和7年、休業4日以上 of 労働災害)

番号	年	月	業種	年代	事案の概要
1	R7	6月	農林業 (農業)	20歳代	らっきょうの収穫作業を行っていたが体調不良のため作業を中止させ、会社の車で事務所まで送迎したところ、車から降りた際に意識を失い、緊急搬送した。【休業1週】
2	R7	6月	その他の事業 (警備業)	70歳代	時々休憩や水分補給を行いながらケーブル張り作業の警備を行っていたところ、高所作業車に手を掛けながら倒れこんだ。【休業4日】
3	R7	7月	商業 (小売業)	60歳代	食堂厨房内において、フライヤーで揚げ物の調理業務を行っていたところ、体調不良(めまい、吐き気)を感じたため、病院を受診した。【休業9日】
4	R7	7月	その他の事業 (警備業)	60歳代	病院駐車場の交通誘導を行っていたところ、目の前が一瞬暗くなりふらついたため水分補給を行い、作業を続けたものの、ふらつきとめまいがあったため座った途端意識を失い倒れた。【休業10日】
5	R7	7月	その他の事業 (警備業)	50歳代	交通誘導警備を行っていたところ、気分が悪くなり、手の痺れの症状があったため、1時間休憩をして警備に復帰し、その日は病院を受診せず帰宅した。翌日、警備を行ったがまだ体調が悪かったため、終業後に病院を受診した。【休業4日】
6	R7	7月	運輸交通業 (道路貨物運送業)	50歳代	飲料水をトラック荷台から現地へ納品作業中、意識を失い後方に転倒した。【休業1月】
7	R7	7月	通信業	30歳代	二輪車で配達作業中、暑さにより頭痛、ふらつき、吐き気を感じたため、木陰で休憩をとったところ、症状が改善された。帰宅後、頭痛の症状が治まらず病院を受診した。【休業7週】
8	R7	8月	建設業 (その他の建設業)	30歳代	保温解体復旧工事において板金取付作業中、めまいがあり、気分が悪くなった。【休業7日】
9	R7	8月	教育・研究業	60歳代	職場敷地内の草刈り作業を行っていたところ、痙攣の症状があったため病院を受診した。【休業12日】
10	R7	8月	清掃・と畜業 (廃棄物処理業)	40歳代	社外で路上の家庭ごみを収集していたところ、急に気分が悪くなり、手と下肢に痺れがあったため、救急搬送した。【休業1週】
11	R7	8月	農林業 (林業)	20歳代	山林現場で伐採作業を行っていたところ、足が攣る等の症状があったため、水分と塩分を補給して休憩をとった。午後も作業を続けたが、帰宅後、体調不良により病院を受診した。【休業7日】
12	R7	8月	教育・研究業	40歳代	駐車場の草刈り作業中、若干の気分不良があったが作業を続けていたところ、頭痛と吐き気があったため病院を受診した。【休業4日】
13	R7	9月	建設業 (土木工事業)	70歳代	道路舗装工事現場で区画線設置(ライン引き)下書き作業を行っていた。水分補給は行っていたが、10時30分頃から気分が悪くなり車内で休憩した。体調が戻ったため午後から仕事に従事したが帰宅する頃から熱中症の症状が現れた。【休業4日】